

大竹彩奈作品集



Ayana Otake
Art Works



大竹彩奈作品集
Ayana Otake Art Works

「薄日」 絹本彩色 113.0×30.2cm



「馳せる」 絹本彩色 113.0×30.2cm





「憩う」 絹本着色 P30号



「つなぐ記憶」 絹本着色 P20号



「涙の行方」 絹本着色 P20号



「小さな眠り」 絹本着色 P20号



「音もなく」 絹本着色 M15号





「幾度も」 絹本彩色 P15号



「七夕」 絹本彩色 M15号

「なぜ女性像を描くのか？」

初めて「こんな絵を描きたい」と思ったのは、小説家の宮尾登美子さん著「蔵」という物語の単行本の表紙に使われていた、智内兄介さんの作品を見た時でした。それは私が初めて絵画に興味を持った瞬間でもありました。セピア色の古い写真のような雰囲気の絵で、大胆で豪華な花柄の着物をゆるく纏った綺麗な女の子がうつ伏せになり横顔を見せていて、表情は無防備で少し図々しくも感じられました。決してこちらを向いてくれない、憧れの女の子を盗み見るような感覚に陥ったのです。かつて自分にも覚えのある感覚でした。手に入らない人を記憶の中に閉じ込める…。こんなにも甘美な景色があったのかと、目が醒めるような思いでした。

今、なぜ女性を描いているのかと自問してみると、やはりそのときの感覚が一番根元にあるような気がします。綺麗な女の子に夢中になってどうにかして近くにいこうとするけれど出来なくて、翻弄されてしまうもどかしさ、反面翻弄されたいという願望。そしてずっと見ていたい気持ち。恋愛というよりは一方的な恋心や執着を含んだ視点で見ているのです。ことに横たわっている女性は、全身の力が抜けて全てが丸みを帯び、柔らかく美しく、その無意識の挑発に本当にどぎまぎさせられます。自分が女であるからこそ、理想像として女性にはかくもしなやかに色っぽく、魅力的であってほしいという願望もあるかもしれません。

つかの間、現実も時の流れも忘れ、手に入らない人を見つめる。そう強く感じる作品を描きたいと思い、制作しています。



撮影：丸山 泰

「美人画づくし」 池永康晟 監修 芸術新聞社より



「ほどいて」 絹本彩色 F10号



「なにも。」 絹本彩色 F10号



「残月」 絹本彩色 M10号



「目醒め」 絹本彩色 P8号



「たしかめて」 絹本彩色 M8号

彼女は、何をするでもなくただそこにいた。
膨大な名前のない時間の中を揺蕩っていた。
時に楽しそうに、時に憂いを秘めて。
わたしはそれを見つめることしか出来なかつたのだ。
そのつれづれなる心を。



「つれづれ」 絹本彩色 M8号



「居待月」 絹本彩色 P3号



「しるし」 絹本彩色 SM



撮影：丸山 泰

* 作品制作の際、何にこだわっているのか

色気があることと、あくまで上品であることにこだわっています。色気はとても奥が深く、見た目や動きはもちろん精神性まで問われるものです。明らさまな性的アピールではなく、ふいに覗かせてこそ生きる味わい深いものです。それを表現しやすいのが着物というコスチュームで、着物の色合いと文様、体にぴったりと沿いつつも露出は決して多くない作りは、魅力的な女性を描く上でとても有効なアイテムです。

また、顔の表情は1番の描きどころなので神経を注いでいます。心が宿るように念じながら描いています。特に目の表情は人物の意思が決まるので、決まるまであれこれ試行錯誤しています。

* その技法は？

以前は和紙に描いていましたが、肌や髪の毛の柔らかい質感を表現するにはやはり絹の方が向いているのではないかと思い、昨年からほぼ絹に描いています。絹は裏からも彩色できるので、人物の肌は特に裏から色味を置いて肌色を複雑にするなど色々と試しています。すべての作業が絹にダイレクトに伝わるので、終始デッサンするような緊張感を持って丁寧に進めるように気をつけています。

「日本画家が描く美人画の世界」辰巳出版より

略歴

1981年 埼玉県に生まれる
2007年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
2009年 東京藝術大学大学院美術研究科(日本画)修士課程修了
2012年 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻日本画研究領域修了(学位取得)

《受賞歴》

2005年 安宅賞
2007年 サロンドプランタン賞／台東区長賞／平山郁夫奨学金授与
2009年 修了制作大学買上げ
新生展ギャラリーショーアワード賞

《個展》

2010年 「大竹彩奈展」ギャラリーショーアワード(青山)
2013年 「第46回レスポワール新人選抜展／大竹彩奈」銀座スルガ台画廊(銀座)
2014年 「大竹彩奈展」銀座ぎゃらりい朋(銀座)
2015年 「大竹彩奈展」銀座ぎゃらりい朋(銀座)
2016年 大竹彩奈 日本画展「きぬずれのおと」伊勢丹新宿店(新宿)
2018年 大竹彩奈 日本画展「鏡花水月」日本橋三越本店(日本橋)

《グループ展》

2007年 「素描展」東京藝術大学大学美術館 陳列館(上野)以後'08～'14
2009年 「紙本の絵画展」小津和紙博物館 小津ギャラリー(日本橋)以後'10、「13、「14
2010年 「流—日本画×韓国画、国境、文化、伝統を越えて—」柿傳ギャラリー(新宿)以後'13～'15
「3国G Image in dialog」TEPCOギャラリー(ソウル)、韓国文化院(新宿)
2012年 「YOUNG ART TAIPEI 2012」晴山藝術中心画廊(台北)以後'15
「三越×東京芸術大学『夏の芸術祭2012-』」日本橋三越本店(日本橋)以後'14
2013年 「永温三彩—女流作家三人展」そごう横浜店(横浜)
2014年 「僥倖の会—東京芸術大学日本画第二研究室出身者による研究発表展」スルガ台画廊(銀座)以後'15
2015年 「第3回 桜花賞展」郷さくら美術館(中目黒)
「始点×視点」日本橋三越本店(日本橋)
2016年 「M3—ミライ×三越×結ぶー」日本橋三越本店(日本橋)
「菅原彥大賞展」倉吉博物館(鳥取)
2017年 「アートのチカラ発表展」伊勢丹新宿店(新宿)
「四美神」八犬堂(池尻大橋)
2018年 ART FAIR TOKYO 2018(東京国際フォーラム)
「たんざく展」伊勢丹新宿店(新宿)

Profile

1981 Born in Saitama Japan
2007 B.F.A., in Japanese painting of Tokyo University of Fine Arts and Music
2009 M.F.A., in Japanese painting of Tokyo University of Fine Arts and Music
2012 P.H.D., in Japanese painting of Tokyo University of Fine Arts and Music

《Award / Prize》

2005 Ataka Prize
2007 Salon de Printemps Prize, Mayor of the Taito-ku Prize Ikuo Hirayama Grant
2009 B.F.A.Graduation Project, Purchased by the University Shinsei Exhibition, Gallery Shorewood Prize

《Solo Exhibit》

2010 Ayana Otake Exhibition / Gallery Shorewood, Tokyo
2013 Ayana Otake 46th. L'espoir selection special exhibition / Gallery Surugadai, Tokyo
2014 Ayana Otake Exhibition / Gallery Tomo, Tokyo
2015 Ayana Otake Exhibition / Gallery Tomo, Tokyo
2016 Kinuzure_no_oto / Isetan Shinjuku, Tokyo
2018 Kyokasuigetsu / Nihonbashi Mitsukoshi, Tokyo

《Groupe Exhibit》

2007 Drawing Exhibition / Tokyo University of Fine Arts and Music gallery also '8 - '14, Tokyo
2009 Paper painting / OZU Japanese Paper Museum gallery, Tokyo
2010 Japanese Painting and Korean Painting / Kakiden gallery, Tokyo
Image in dialog / TEPCO gallery, Korea
Korean Cultural Center in Japan, Tokyo
2012 Young Art Taipei, Taiwan
Summer Art Festival 2012 / Nihonbashi Mitsukoshi, Tokyo, also '14
2013 3 Women Artist / Sogo Yokohama, Yokohama
2014 Group Of GYOKO / Surugadai gallery, Tokyo also '15
2015 Ouka Prize / Satosakura museum, Tokyo
Starting point x View Point / Nihonbashi Mitsukoshi, Tokyo
2016 3M / Nihonbashi Mitukoshi, Tokyo
Tatehiko Suga Prize / Kurayoshi Museum, Tottori
2017 Art_no_chikara_selection / Isetan Shinjuku, Tokyo
The four Graces / Hakkendo gallery, Tokyo
2018 Art Fair Tokyo 2018 / Tokyo International Forum (Hakkendo booth)
Tanzaku exhibition / Isetan Shinjuku, Tokyo

《表画》



横溝 正史「横溝正史ミステリ短編コレクション」全6巻



森下 佳子「おんな城主直虎」全4巻



澤田 瞳子「腐れ梅」

デザイン・制作：八犬堂

編集：東野佳代子

©大竹彩奈 2018





Ayana Otake
Art Works